

宮越雄司副町長、 熊澤久教育長が就任

3月議会定例会で副町長の選任及び教育委員会教育長の任命について議会の同意を得たことから、4月1日付けで副町長に宮越雄司氏、教育長に熊澤久氏が就任しました。



▼副町長 宮越 雄司



▼教育長 熊澤 久



【略歴】

昭和56年4月に神奈川県に入庁。県民部、企画部、環境部、環境農政部、知事室、環境農政局、政策局、総務局などで県行政に携わり、オリンピック・パラリンピック担当局長、スポーツ局長を歴任、平成30年に退職。退職後は、県スポーツ局参事監（ラグビーワールドカップ・オリンピック・パラリンピック担当）を令和3年3月まで務める。

【略歴】

昭和48年4月に神奈川県教育委員会に採用、大磯町立大磯中学校教諭、大磯町教育委員会、大磯町立国府中学校教頭、大磯町教育委員会学校教育課長、大磯町立大磯中学校校長を歴任、平成23年に退職。退職後は、中井町教育委員会委員、同教育委員会教育長職務代理者を令和3年3月まで務める。

問総務課 ☎内線210

問学校教育課 ☎内線328

栗原匡賢副町長、 野島健二教育長が退任

3月31日をもって副町長の栗原匡賢氏、教育長の野島健二氏が退任されました。

栗原副町長は、平成25年4月から8年間にわたり町長の補佐役として町政発展のためにご尽力されました。

野島教育長は、平成29年4月から4年間にわたり教育行政にご尽力されました。



▲3月31日（水）に行われた退任式の様子

問総務課 ☎内線210
学校教育課 ☎内線328

町長が走る!!

大磯港賑わい交流施設 OISOCONNECTが オープンしました。

4月3日（土）大磯港賑わい交流施設（OISOCONNECT）がオープンしました。

OISOCONNECTは、町の回遊型観光拠点として、全国で147か所目のみなとオアシス登録施設です。施設は、漁協機能と、賑わい創出機能で構成された複合施設となっています。1階の物品販売エリアでは、町内で採れた農水産物や、町内で加工、製造された加工品が販売されています。また、相模湾を一望できる眺めの良い2階レストランでは、地元食材を使用した美味しい料理をいただくことができます。

当日は天候にも恵まれ、大磯港周辺は多くの方で賑わいを見せていました。また、同日に大磯港ビクターバースのオープンを記念して、スプリングクルーズが開催され、参加者の皆さんと、優雅なひとときを過ごすことが出来ました。

新型コロナウイルス感染症の収束が見通せない状況ではありますが、多くの皆さんに施設をご利用いただき、大磯の新しい価値や賑わいが生まれればと思います。

大磯町長 中崎 久雄

